

1.開講年度	2024
2.開講期	前期 金4限
3.講義コード	30176
4.授業科目	経済統計論 I (2024-前期-金4)
5.単位	2
6.担当教員	佐井 至道
7.配当学年：法学科	2年以上
8.配当学年：経済学科	2年以上
9.配当学年：経営学科	2年以上
10.配当学年：商学科	2年以上
11.備考	(事前申込科目) 経済学部 2年生優先
12.実務経験	
13.実務経験：内容	
14.実務経験：授業との関連	
15.初年次教育	
16.授業形態	講義, 演習
17.授業方法	受動型, アクティブラーニング：課題解決型
18.受講生のPC等使用	PC・タブレット（教室に備付）, PC・タブレット（学生自身が準備）
19.接続科目	地域社会, 国際社会, 産業界

## 20.授業の概要

経済学部経済学科に係る専門科目（選択必修科目）として、この講義では、教育理念に沿って、統計という手法を用いて経済事象を捉え、分析し、解決する能力を備えた人材の育成を目指す。

## 21.到達目標（身につける資質・能力）を項目ごとに分けて列挙する

- 1) 調査の手順を理解できる。
- 2) 官庁統計などの経済分野における調査について理解できる。
- 3) 官庁統計などで得られたデータについて、適切な分析手法を用いて必要な結果を得ることができる。

## 22.授業計画

この講義は対面で行う予定である。連絡事項の伝達と教材のやりとりについてはWebClassを通じて行う。

オンライン対応時には、YouTubeの視聴を基本とし、講義時間前にWebClassで視聴方法などを説明するとともに資料を配付し、課題はメールに添付して送信してもらう。

### 1.経済統計，社会調査，世論調査，市場調査などの概要と歴史

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：講義で学習した手法の復習

### 2.調査の目的と方法

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

### 3.量的調査と質的調査

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

### 4.調査の手順（調査票作成，フィールドワーク，資料の整理など）

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

### 5.国勢調査などの全数調査の概略とデータの読み方

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

### 6.官庁統計における大規模な標本調査方法

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

### 7.標本調査によって得られたデータの読み方

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

## 8.労働力調査データに対する分析

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

## 9.家計調査データに対する分析

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

## 10.社会生活基本調査データに対する分析

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

## 11.季節調整などのデータの修正方法

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

## 12.景気指標などのデータの加工方法

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

## 13.プライバシー保護などの調査倫理について

- ・事前学修：講義で使用する手法の予習
- ・事後学修：返却されたレポートについての復習

## 14.個々の実データに対するデータ分析

- ・事前学修：分析するデータの収集
- ・事後学修：予測結果と実際の値との差の評価

## 15.レポート作成と報告

- ・事前学修：分析するデータの収集
- ・事後学修：予測結果と実際の値との差の評価

## **23.予習・復習**

予習（1時間程度）使用するデータの選定，手法の予習など

復習（3時間程度）レポートの作成，返却されたレポートについての復習など

## 24.注意事項

成績評価方法：レポートと講義内の小テスト

講義における出席状況や提出する小テスト（小レポート）を75%、講義内のレポートを20%などとして評価する。小テスト（小レポート）については、毎回チェックして返却し、次回の講義で解説する。

ほぼ毎回の講義において、パソコンを用いてデータ分析を行う。製品版のExcelがインストールされている自分のパソコンを用意すること。

希望者多数の場合には抽選を行うが、2023年度入学の経済学部生を優先する。

## 25.教材

プリントを配布する。

## 26.教科書

## 27.参考書

ISBN	978-4-88730-420-8
書名	例解調査論
著者	佐井至道
出版社	大学教育出版
価格	2400円

## 28.授業関連科目

データサイエンス入門I, IIを前年度までに受講していることが望ましい。

経済統計論IIを引き続き受講することが望ましい。

## 29.授業関連資格

社会調査士

データサイエンス・リテラシー教育プログラム

### 30.育成する資質・能力（カリキュラムポリシーとの関連）

カリキュラムポリシー	内容	学習目標(比率)
CP1（専門知識）	法学、経済学、経営学、商学に関する専門知識の学習	45%
CP2（一般知識）	社会科学の種々の問題を的確に捉える幅広い一般知識の学習	5%
CP3（思考力）	社会事象を論理的、創造的に思考する能力の学習	15%
CP4（判断力）	社会事象を的確に捉える洞察力と判断力の学習	15%
CP5（会話・文章力）	テーマ内容を的確に表現・伝達する日本語・外国語能力の学習	3%
CP6（意欲・責任感）	社会事象に積極的に参加しようとする意欲と責任感の学習	2%
CP7（協調性）	多様な人々と協調して主体的に活動するリーダーシップの学習	5%
CP8（持続性）	生涯にわたって学び続けようとする態度の学習	5%
CP9（倫理観）	社会のルールを守る倫理観の学習	5%

### 31.成績評価方法

評価手段	実施内容	評価比率
試験		
小テスト	講義における出席状況や提出する小テスト（小レポート）の内容を評価する。	75%
レポート	1回作成するレポートの内容を評価する。	20%
成果発表		
受講態度	受講状況を持続性・協調性などを含めて評価する	5%
その他		